

＋ 公開授業



文化遺産マップ

を活用した
文化遺産
レスキュー活動

ミュージアムではこれまで、貴重な文化遺産を出来るだけ一か所に集めながら、効率的にそれらを守ろうとしてきた。しかしながら、地域に散在する大小すべての文化遺産を収蔵庫で保管することは、当然ことながら難しい。地域のなかに、いわば埋め込まれるように存在している史資料を守り、救うために、私たちに何ができるのか。私たちは何をすべきなのか。

講師：蝦名 裕一（東北大学災害科学国際研究所）

1975年、青森県生まれ。東北大学大学院国際文化研究科修了。博士（国際文化）。専門は日本近世史。東北大学東北アジア研究センター教育研究支援者、東北大学災害科学国際研究所助教を経て、2015年より東北大学災害科学国際研究所災害文化研究分野准教授、現在に至る。主に東北地方を中心とした歴史災害の研究、特に歴史資料を活用した文理融合型の学際的歴史災害研究に取り組んでいる。著書に『慶長奥州地震津波と復興—400年前にも大地震と大津波があった』蕃山房、2014年。

開催日時：2022年10月9日（日）13時～15時

開催方式：対面（北海道大学札幌キャンパス）もしくはオンライン（Zoom）

会場情報：札幌市北区北10条西7丁目 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W202

事前のお申込みが必要です。ご希望の方は <https://forms.gle/MebRhNrovNPMMtaj9> または QRコードより申し込みフォームへとお進みください。お申込みの締め切りは10月8日（土）13時です。参加費は無料です。

「プラス・ミュージアム・プログラム」は、わたしたちを取り巻くさまざまな課題にミュージアムならではのやり方でアプローチする方法を学ぶ3年間のリカレント教育プログラムです。1回だけの参加、オンラインでの参加、遠方からの参加も歓迎します。

札幌市北区北10条西7丁目北海道大学文学研究院内「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局

〒060-0810 Mail: plusm@let.hokudai.ac.jp TEL: 011-706-4053

主催：北海道大学文学研究院 共催：北海道大学総合博物館

助成：文化庁「令和4年度大学における文化芸術推進事業」

（事業名「ミュージアムにおける異分野との「対話」と「寄り添い」を通じた人材育成事業」）

